

学校 番号	66	学校名	飯田 OIDE 長姫高等学校
----------	----	-----	----------------

平成 30 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成 31 年 1 月 18 日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校長挨拶
- 2 本校からの報告
 - (1) 生徒指導より
 - (2) 進路について
- 3 協議
 - (1) 評議員の方からの意見・要望
 - (2) 協議

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・総合技術高校としての取り組みの成果を評価していただくために全校課題研究発表会の見学後に学校評議員会を計画した。
- ・評議員が出席しやすいよう会議開催通知を早めに郵送した。また、当日の会議の効率向上と活発な意見交換のために会議資料を事前に送付した。
- ・評議員会当日は、学校側の報告を精選することで協議の時間を十分に確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるように配慮した。
- ・中学生向けに発行している情報紙「OIDE 長姫通信」「定時制だより」を評議員の方に毎号送付し、学校の様子を知っていただくための一助とした。
- ・生徒の活動が掲載された新聞記事を集めた小冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」を作成し、本校の取り組みの成果や外部の評価が確認しやすいように配慮した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・全校課題研究発表会では特に地域の抱える課題をテーマとした研究の着眼点が話題となり、高い評価をいただいた。また、年度を超えて研究を継続し深化していくことの重要さと、卒業後にライフワークとして追求が継続されていくことへの期待などが指摘された。
- ・年 2 回の大規模な企業展示説明会の開催や各種講演会など 2 年間にわたる人材育成委員会の取り組みの成果が今年度の地元就職率の向上に顕れていることを評価していただいた。
- ・成人年齢の引き下げに伴う対応についての質問が出され、主権者教育、消費者教育などの具体的な対応を含めた学校現場の今後の課題について話題となった。
- ・学校評議員から地元企業の各業種の採用難の実態や県外への進学者の地元就職の促進のための施策などについて情報が提供され、企業と学校が連携を深めてこれらの課題に取り組んでいくことの重要性が確認された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・課題研究での企業支援や、各学科の現場見学会、講演会、商業科の地域人教育等において、地域からの支援をいただきながら多様な取り組みを行うことができた。今後も課題の継続性と発展性の両面を見据えながら、学びの場をより充実させていきたい。
- ・県が推進する「学びの改革～夢に挑戦する学び～」に沿い、本校では新たな学びの導入に向けての検討段階にあり、今後その実現に向けて学校評議員の所属する各団体との連携がより重要になっていくと考えられる。

※報告書は 2 枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。